

まとめ ～「防災隣組」の育成促進に向けて～

本事業は、各地区での準備会合、及びワークショップ等の機会を通じて、実施団体・参加者に「防災隣組」の趣旨と必要性を啓発してきました。その結果、地区特性やこれまでの防災活動の活発さ等により、異なる成果や、他の地区で参考となる様々な情報・ヒントを得ることができました。ここでは、まとめとして、「防災隣組」の育成促進に向けて、「人の輪づくり」及び「活動のきっかけづくり」の視点から、10 の情報・ヒントをまとめました。みなさんの地区でも、活動のヒントとして役立ててください。

<人の輪をつくる情報・ヒント>

- (1) 既存の住民組織・まちづくり組織を活用して、他の主体を巻き込むことが重要です。
- (2) 地域の特性・役割を有効活用して人の輪を広げることが必要です。
- (3) 単一では小さなコミュニティでも、連携することにより大きなネットワークが得られます。
- (4) オフィス街の企業・事業所においても、住宅街の町内会・自治会と同様に人のつながりが重要です。

<活動のきっかけをつくる情報・ヒント>

- (5) 多様な世代が集まる機会（お祭り等）を活用し、防災の要素を加えて情報発信することは有効な取り組みです。
- (6) 地域住民の日頃の行動を防災活動にも活かす工夫を仕掛けることが重要です。
- (7) 防災活動を地域の活性化に活用することが必要です。
- (8) 当初から予定されている防災活動の機会に、簡単な出し物や有識者の招聘など中身を充実させた内容とすることが有効です。
- (9) じっくりと学び、考える機会をまとまった時間として新たに設ける努力も必要です。
- (10) 活動に当たっては、事前の周知が必要で、熟度を高めた上で行うことが重要です。

平成 21 年度「防災隣組」育成促進モデル事業

地域における防災力向上のための組織づくり
情報・ヒント集

平成 22 年 3 月

発行：内閣府（防災担当）

編集協力：ランドブレイン株式会社